

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用) ]

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年6月26日

(宛先) 長野市長 萩原 健司殿

提出者

住 所 長野市末広町1355-5  
ウエストプラザ長野8F

氏 名 積水ハウス株式会社 長野支店

望月 尚

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-228-4151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社 長野支店
事業場の所在地	長野市末広町1355-5 ウエストプラザ長野8F
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	55億円
③従業員数	63人
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙(産業廃棄物の一連の処理の工程)の通り

(日本産業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙(管理体制図)の通り

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	紙くず
	排出量	63.69t	7.32t	481.03t	172.42t	25.79t
	産業廃棄物の種類	繊維くず				
	排出量	1.84t				
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	紙くず
	排出量	57.32t	6.59t	432.93t	155.18t	23.21t
	産業廃棄物の種類	繊維くず				
	排出量	1.66t				
(今後実施する予定の取組)						

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和6年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	19.66t	7.32t	55.51t		25.49t	21.26t
	産業廃棄物の種類	繊維くず					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.31t					
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	17.78t	6.59t	49.96t		22.94t	0.28t
	産業廃棄物の種類	繊維くず					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.28t					
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和6年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリガラ、廃アス	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	繊維くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組)					
	【目標】					
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリガラ、廃アス	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類	繊維くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組)					
	【目標】					

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類						
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず (石膏ボード含)	がれき類(コンクリガラ、廃アス ファルト・レンガ)	紙くず
	全処理委託量	44.03t		425.52t	172.42t	0.30t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.46t		327.11t	135.42t	13.31t
	再生利用業者への 処理委託量	44.03t		418.52t	135.42t	430.21t
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量					
産業廃棄物の種類						
	全処理委託量	1.53t				
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量	1.08t				
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量					
	(これまでに実施した取組)					



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類（実績値・計画値）												合計
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器／アフコア	がれき類(コンクリリート・がら、廃アフコア)	紙くず	木くず	繊維くず						
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	63.69t	7.32t	481.03t	172.42t	25.79t	506.20t	1.84t						1,258.29t
	本年度排出量(計画)	57.32t	6.59t	432.93t	155.18t	23.21t	1.66t	1.66t						678.55t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績	19.66t	7.32t	55.51t		25.49t	21.26t	0.31t						129.55t
	本年度計画(目標)	17.78t	6.59t	49.96t		22.94t	0.28t	0.28t						97.83t
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績												
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績												
	本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	44.03t		425.52t	172.42t	0.30t	484.94t	1.53t					1,128.74t
		本年度計画(目標)	39.54t		382.97t	155.18t	0.27t	1.38t	1.38t					580.72t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	0.46t		327.11t	135.42t		13.31t						476.30t
		本年度計画(目標)	0.41t		294.40t	121.88t		11.98t						428.67t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	44.03t		418.52t	135.42t		430.21t	1.08t					1,029.26t
		本年度計画(目標)	38.05t		376.67t	121.88t		387.19t	0.97t					924.76t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。